

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山市民総合体育館指定管理者事業			会計	款	項目	大専	小専
				01	10	06	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	金子 邦晃			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市民総合体育館利用者	意図	民間の創意工夫やノウハウを活用することで、利用者の満足度が向上できる。
事業内容	市民の健康づくり、体力づくりはもちろん、公式競技が行えるスポーツ活動の場として、また新しいスポーツの拠点として活用を目指しており、民間の創意工夫やノウハウを活用する指定管理者制度を導入することで効率的かつ質の高い公共サービスを提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年4月に開館し、施設運営にあたっては日頃のスポーツ活動の他、各種スポーツ大会や興行的イベント、文化的行事等にも活用するなど、より効率的かつ質の高い公共サービスを提供する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市民総合体育館利用者数			433,145	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				61,560,217			
事業費(b)(円)				59,843,967			
うち一般財源				47,843,967			
職員給与費(c)(円)				1,716,250			
人役・職員(人)				0.25			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新規事務事業により記載なし。	③取組の課題	利用者の利便性、ニーズに迅速に対応できる体制強化を図る。
②今年度(H28)に実施した取組	新規事務事業により記載なし。	④今後の改善計画	指定管理者による自主事業、プロバスケットボール等の興行のあり方について指定管理者と協議していく。